

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	美術
科目基礎情報						
科目番号	0016		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	なし					
担当教員	根本 正辰					
到達目標						
①自然と人間の関わりについて学習し、より良き人間生活とは何かを追求する態度を養う。 ②表現することを通して豊かな人間性を養い主体的に取り組む態度を養う。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。		到達目標の内容を実践で理解している。		到達目標の内容を実践で理解していない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (E)						
教育方法等						
概要	様々な課題に取り組み、表現する喜びを味わい柔軟な発想や表現技術の獲得を目指す。					
授業の進め方・方法						
注意点	「自由さ」を大切にしながら、自制的態度で臨むこと。 作品、課題、授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標		
		1週	リインテネーション①	授業を受けるにあたって		
		2週	リインテネーション②			
		3週	絵画1(手のデッサン①)	観察と加味-(全体のフォルムと各指のバランスと表情)		
		4週	絵画1(手のデッサン②)	4種類の鉛筆、練りゴムの使い方について		
		5週	絵画1(手のデッサン③)	手首と手の動き、量感、空間性の表現について		
		6週	絵画1(手のデッサン④)	関節と動きについて		
		7週	絵画1(手のデッサン⑤)	皮膚の表現、爪の表現について		
	2ndQ	8週	絵画1(手のデッサン⑥)			
		9週	絵画1(手のデッサン⑦)			
		10週	絵画1(手のデッサン⑧)			
		11週	作品講評	表現について		
		12週	絵画2(立体の表現)	遠近と立体を表現する方法について		
		13週	絵画2(透視図法①)	一点透視図法について		
		14週	絵画2(透視図法②)	二点透視図法について		
		15週	絵画2(透視図法③)			
後期	3rdQ	16週				
		1週	絵画2(透視図法④)	二点透視図法による風景表現		
		2週	絵画2(透視図法⑤)			
		3週	絵画2(透視図法⑥)			
		4週	絵画2(透視図法⑦)			
		5週	絵画2(透視図法⑧)			
		6週	作品講評	表現について		
		7週	デザイン(平面構成)①	デザインとは何か		
	4thQ	8週	デザイン(平面構成)②	色の性質と形について		
		9週	デザイン(平面構成)③	柔軟な発想とその展開について		
		10週	デザイン(平面構成)④			
		11週	デザイン(平面構成)⑤			
		12週	デザイン(平面構成)⑥			
		13週	デザイン(平面構成)⑦			
		14週	デザイン(平面構成)⑧			
		15週	作品講評	表現について		
16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的方法で明確化できる。	4		
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	4		

				クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスを理解し、設計解を創案できる。さらに、創案した設計解が要求を解決するものであるかを評価しなければならないことを理解する。	4	
				クライアントの要求を解決するための設計解を作り出すプロセスを理解し、設計解を創案できる。さらに、創案した設計解が要求を解決するものであるかを評価しデザインすることができる。	4	
評価割合						
	試験	作品等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他
総合評価割合	0	100	0	0	0	0
基礎的能力	0	100	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0